

『第8回クールシュヴェール国際音楽アカデミーinかさま』のお知らせ

3月16日(金)～20日(火・祝)まで、笠間公民館を主会場として、『第8回クールシュヴェール国際音楽アカデミーinかさま』を開催します。

今回は、コンサートを中心に実施します。期間中は、アカデミー講師によるコンサートや過去のアカデミー受講生で現在活躍中の若手アーティストによるコンサートなどを開催します。

また、アカデミーレッスンが中止となることから、市内・県内の小中学生を対象としたピアノとヴァイオリンのセミレッスンを充実させる予定です。

アカデミー期間中に開催していた街角ふれあいコンサートは、次の日程で開催予定です。

3月14日(水) 午後7時～

場所：市民センターいわま

3月15日(木) 午後7時～

場所：パークスガーデンプレイス

3月17日(土) 午後1時～

場所：笠間ショッピングセンターポレポレシティ

詳しくは笠間市のホームページ等に掲載しますので、ぜひ足をお運びください。



第6回の街角ふれあいコンサート



アカデミー講師によるコンサート

家庭教育力の向上をめざして

来年度、小学校に入学する児童の保護者を対象に、就学時健康診断の際に「家庭教育」についての講話を実施しました。

市内14校の小学校において、社会教育指導員や社会教育主事が講師となり、茨城県教育委員会が作成をした「家庭教育ブック」を活用して行いました。

子どもの人間形成には、保護者・家庭が大きな影響を与えます。また、親が子どもの発達段階に応じて家庭教育に関する学習を行うことは、極めて大切であるといえます。

本市では、家庭教育力の向上をめざし、各幼稚園、保育園、保育所、小・中学校において、保護者を対象にした「家庭教育学級」を開設し、継続した家庭教育の学習を行っています。



家庭教育ブック



講話の様子

市長コラム

これからの国際交流

新しい年を迎え、日本も国際社会の一員として政治、経済、安全保障の分野において、より一層の大きな役割を果たしていかなければなりません。国と国、都市と都市、国際交流の形態はそれぞれですが、人と人との対話から始まることに変わりはありません。

以前、このコラムにも書きましたが笠間市は菊まつりが縁でドイツのラー市と交流を行っています。他にもフランス、クウェート、レバノン各国の在日大使と交流をさせていただいています。

先般はクウェート大使館を訪問し、アルオタイビ大使と面会しました。昨年5月に笠間市へ来訪いただく予定がありましたが、震災により延期となりましたので、再度ご招待したい旨を伝えました。また、震災後、原油500万バレル(400億円相当)を支援助物資として、日本赤十字社へ寄付していただきましたので、被災地として感謝を申し上げます。

レバノン大使からは、昨年11月のナショナルデーにご招待を受け、笠間市国際交流協会の方と一緒に出席してまい

りました。

国際交流の場で感じることは、それぞれの国が持つ歴史や文化、国家に対しての誇りと愛着を強く持っていることです。日本国民も国家に対する誇りをしっかりと持つべきであると思います。

訪問する各大使館の方々は、一つの地方都市である笠間市のことを良く理解してくださっています。今後は市行政レベルの交流から市民間への交流へ拡大していけたらと思っています。

私が外国の方々との交流で、一番必要性を感じるののは英会話と自国の歴史を覚えることです。特にこれらの若い方々にはぜひ、日常会話程度の英語が話せるようになってほしいと願います。



クウェート大使館への表敬訪問(11/29)

笠間市長
山口伸樹